

大好き

拝啓

@

:

え、そもそもこの手紙は裕子のことについて話すために書いているんです。

まずは裕子について話さなくてはならないと思うの。

裕子に初めて会ったのはあたしが中学二年生の時だから、つい一年前のことだけれどもあたしは裕子のこと誰よりも理解してたつもり。

なんたってあたしと裕子は親友なんですもの。毎日一緒に給食を食べて、トイレに行くときは必ずついて行つたし、ついて来てもらった。だからあたしは裕子が食べ物に好き嫌いはなくお箸を上手に使つてごはんを食べることを知つてゐるし、彼女がいつ生理になるか予想だつてできた。

あら、またあたしの話になっちゃつた。裕子の話に戻すね。

裕子というのはね、あたしの親友で、とてもできた人なの。···

ええ。裕子がいさえすればこんな手紙も完璧に書き上げてくれたでしょに。

でも裕子は今、どこにいるのかわからなくなつてしまつたの。え

裕子はとにかく「完璧」の二文字がぴつたりな女の子だった。身長一五〇センチの体重四五キロ。短く切つた黒髪からはいつもほんのりとレモンみたいなかおりがしてて、とてもかわいらしい顔立ちをしてた。頭もよくて、いつもクラスの一番か二番の成績な

のに、いばつたことは一度もなくて、むしろ成績がいいことがまるで恥ずかしいことみたいにテストの点数をいつも隠してた。

ほかの女の子みたいに目立つことは大嫌いでいつもニコニコしてるのでけれども、なにかしら困ったことがあると人が変わったみたいに真剣な顔をして、瞬時にトラブルを解決してくれた。

裕子に聞けばわからることは何でもわかった。でも裕子は知識をひけらかすことはしなかった。聞かれない限りは、もしくはトラブル解決に必要じやない限りはほかの人の話をフムフムと聞いてニコニコと笑っていた。

裕子は水泳部に所属していた。そして毎年大会のシーズンになると体育館で校長先生に表彰された。

ねえ、裕子は完璧だつたっていうのもうなずけるでしょ。

そんな裕子があたしなんていうなんのとりえもない子と親友になるなんておかしいってみんなが言うけれど、あたしはそうは思わない。

あたしは裕子を守つてた。

裕子はあまりに完璧で、純粹だったから、彼女の名声のおこぼれをもらおうとした奴等がたくさんいた。あたしはそういう奴等を追いかけてあげたのだ。

たとえばユツキーナ。ユツキーナは親の言いつけで進研ゼミをや

つてたんだけど、その中に入つて赤ペン先生の添削問題を裕子に解かせてた。

ユツキーナの親は厳しい人らしい。添削問題の点数が低いと文句を言われるらしかった。それでユツキーナは自分のやらなくてはならない添削問題を自分の代わりに裕子に解いてもらつてたらしい。

なんたつて彼女に解いてもらえば満点間違いなしだもの。

あたし、腹が立つて裕子に言つたんだけど、裕子は「そつか、満点だつたんだ」としか言わないんだから……。ええ、裕子は完璧だつたけど、同時にとつても純粹だつた。あたしはユツキーナに裕子には近づかないようつてきつと言つておいた。あたしは裕子を守つたんだ！ ただ、次の日に裕子が泣いてたのはどうしてかわからないんだけど……。

ええ、話をもとに戻しますね。

そういうわけで裕子は完璧で純粹だつたんだけど、いつの日からか様子がおかしくなってきたの。突然笑わなくなつて話しかけてもうわのそら。なんか、おかしい。そう思つたわ。

そこであたし、こう思つたの。原因は最近流行つてていうツイッターってやつじやないかって。

最近裕子がやけに携帯をいじくつてるのはわかつてたけど、あたしと話をしてるときもそんなことするなんて失礼じやない？

だからあたしもツイッターのアカウントを作つて裕子のアカウ

ントを探してみたの。そうしたら裕子のアカウントつたらカギがかかるって見れやしない。あたしが裕子をフォロー申請しても申請を許可してくれないもんだから、裕子に直接「許可してよ」って言ったの。そうしたら今まで百近くあつた裕子のツイート数が数十個にまで削除されてからフォロー申請を許可されて……。

でも、そこまでは許せたのよ。問題はね、あたしの知らない人（しかもカギ付アカウント！）とあたしの知らない会話をしてるってこと！

こればかりはそういう人をかたづけながらフォロー申請するわけにはいかなかつた。だつて、申請を許可されるかなんてわからなかつたんでもの。

でもね、もっと頭のよいことを思いついたのよ。ここだけの話、ツイッターのアカウントのパスワードを盗んじやえればいいんじやないかつて。

これはね、一度あたしのアカウントにフィッシング詐欺のDMが来たときに思いついたの。成功するかは微妙だつた。なんたつて相手は裕子だもの。裕子にフィッシングのDMを送つて、フィッシングだつてばれなきやいいのだけれども、それが難しい。

成功したときはびっくりした。そしてそこでわかつた裕子のあたしの知らない人の会話の内容を見て驚いたわ。

なんだつて中身は弱音と鬱ツイート、それからあたしの悪口ばつかりだつたんだもの！

裏切られた気がしたわ。

あんだけ裕子に尽くしてやつたのに、あの子に言わせればあたしは「ストーカー」ですつて？ ふざけるのもたいがいにしてほしいわ。わたしはあの子を害のある人たちから守つてやつてたのに。何が一番あたしを裏切られた気分にさせたかたつて、裕子は別に完璧でもなんでもなくつてあたしたちと同じようにあのかわいい口で弱音も鬱発言も悪口だつて吐くつてこと！

この絶望感わかるでしょ？

あたしは裕子をあたしの家に呼び出したわ。ちょうど家族がみんな出かけてる時だつた。

そうしたら裕子は泣きながらあたしがアカウントのパスワードを盗んだことを責め立てるんだもの。腹がたつてしまふがなかつたわ！

そのときよ。私の頭の中で、偶像是壊さなくてはならない、美しいものは美しい今までなくてはならない、という声がしたのは。

それ以来裕子を見ていないの。だからこの手紙を書いています。探偵さんは人探しがお得意なんですよね？ はやく裕子を見つけ

てください。

くれぐれも気をつけてほしいのは本物の裕子を見つけてほしいってこと。弱音や愚痴を吐く、偶像の裕子じやないのよ？

お金のことはまた連絡してね。これでもあたし、結構バイトしてるからお金はあるのよ？

黒田竜彦探偵様

二〇一二年 三月

平井静香

敬具

「女子中学生、変死」 每毎新聞 三月一日十八時二十九分

Y県A市のA森付近で先月二十九日未明、女性の遺体が見つかった。身元は同市に住む中学三年生の渡辺裕子(15)とみられており、首を絞められたような跡があることから警察は殺人とみて捜査を進めている。